

整理 No.	学 科 科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ード 2	No.			
	学 科 科 目 名								学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名			
1 F	F	A0	A030	国語総合	4	1	普通科	必修	中学校までに学習した内容を基本とし、更に高度な文章読解力、語彙力、言語表現力を身につけるための学習を行う。現代文、古文、漢文の三つの分野をバランスよく扱うが、特に古文、漢文の分野では大学入試を視野に入れた授業を進める。	原則として教科書に則して授業を進めるが、必要に応じて別に教材を用意する場合もある。週に一回程度、漢字の小テストを実施する。夏期・冬期の休業中にはしかるべき課題を課す。	定期テストの成績を基本とし、小テストの成績・課題の内容や提出状況等を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	A0	001
2 K	K	A0	A030	国語総合	3	1	工業2科	必修	中学校までに学習した内容を基本とし、更に高度な文章読解力、語彙力、言語表現力を身につけるための学習を行う。現代文、古文、漢文の三つの分野をバランスよく扱う。	原則として教科書に則して授業を進めるが、必要に応じて別に教材を用意する場合もある。週に一回程度、漢字の小テストを実施する。夏期・冬期の休業中にはしかるべき課題を課す。	定期テストの成績を基本とし、小テストの成績・課題の内容や提出状況等を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	A0	002
3 F	F	A0	A040	現代文	3	2	普通科	必修	国語総合の学習の基礎の上に立ち、近代以降の文学作品や評論を読み味わい、様々な人の生き方、考え方を知ることによって、私たちが生きている「現代社会」とはどのような社会なのか、そして、私たち自身はその中でどのように生きていくべきなのか、自分自身の生き方についてじっくりと考える教科。	評論、隨想、小説等を読む。他に文学史、詩歌などをあつかう。また年を通して週一回の漢字テスト（テキスト使用）を実施する。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、課題テスト、各種提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	004
4 F	F	A0	A050	古典	3	2	文理・文 理科系	選択	一・二年の国語総合の古典分野の内容を一層深め、主として古文・漢文の基礎的な読解を中心として、漢文句法、古典文法。文学史などをあつかい、日本文化への理解の端緒をつかむことを目指す。	古文については文法事項を中心に、語句の意味、慣用表現など、事前に予習しておくことが必要である。古文、漢文をバランスよく扱う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	007
5 F	F	A0	A050	古典	2	2	一般系	必修	国語総合で学習した事柄をうけ、古文・漢文の知識・理解を深める。特に、助動詞などの文法事項をしっかりと把握した上での適切な現代語訳をもとに、読み取った内容から、日本の古典文化・習慣、漢文の日本への影響などを理解する基礎を養成する。	分からぬ語句の辞書調べ、品詞分解などについては予習しておくことが必要である。古文、漢文をバランスよく扱う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	008
6 K	K	A0	A030	国語総合	2	2	工業2科	必修	一年次国語総合の学習の基礎の上に立ち、近現代の文学作品や評論を読み味わい、また古文・漢文を味わうなかで様々な人の生き方、考え方を学び、私たちが生きる「社会」のあり方や意味、そして、私たち自身の人生について考える教科。	近現代の評論、小説、詩歌及び表現の実践（自己紹介・スピーチ・電話のかけ方受け方・手紙の書き方等々）。古文の分野では基礎的な文法、伝奇物語、隨筆、軍記物語、和歌、日記と紀行。漢文では訓読の基礎、故事成語、歴史文学、漢詩、諸子百家の思想等々を学ぶ。週一回の漢字テストを行う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、夏・冬の課題テスト、さらに提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	003
7 F	F	A0	A040	現代文	3	3	普通科	必修	2年次の現代文の基礎の上に立ち、近代以降の文学作品や評論を読み味わい、様々な人の生き方、考え方を知ることによって、私たちが生きている「現代社会」とはどのような社会なのか、そして、私たち自身はその中でどのように生きていくべきなのか、自分自身の生き方についてじっくりと考える教科。	評論、隨想、小説などを読む。他に詩歌、文学史などを扱う。年を通して週一回の漢字テストを行う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、課題テスト、各種提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	005
8 F	F	A0	A050	古典	3	3	文理・文 理科系	選択	一・二年の国語総合及び古典の発展的内容。主として古文・漢文の読解を中心として、漢文句法、古典文法。文学史などを総合的にあつかい、日本文化への理解を深める。受験で古典が必要な者は、こちらを選択することが望ましい。	古文については文法事項を中心に、語句の意味、慣用表現など、事前に予習しておくことが必要である。古文、漢文をバランスよく扱う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	009
9 F	F	A0	A120	古典講読	3	3	文理・文 理科系	選択	一・二年の国語総合及び古典の発展的内容。主として古文読解を中心として、古典文法、文学史などを総合的にあつかう。基礎的な事項を重視して授業を展開するので、古文が比較的苦手な人、あるいは理系から文系に転向した生徒を対象とする。	文法事項を中心に、語句の意味、慣用表現など、事前に予習しておくことが必要である。主に古文を扱う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	010
10 F	F	A0	A120	古典講読	3	3	一般系	選択	一・二年の国語総合及び古典の発展的内容。主として古文読解を中心として、古典文法、文学史などを総合的にあつかう。受験で古典が必要な人は受講すること。	文法事項を中心に、語句の意味、慣用表現など、事前に予習しておくことが必要である。主に古文を扱う。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	011
11 K	T	A0	A040	現代文	3	3	探究	必修	国語総合の学習の基礎の上に立ち、近代以降の文学作品や評論を読み味わい、様々な人の生き方、考え方を知ることによって、私たちが生きている「現代社会」とはどのような社会なのか、そして、私たち自身はその中でどのように生きていくべきなのか、自分自身の生き方についてじっくりと考える教科。	評論、隨想、小説等を読む。他に文学史、詩歌などをあつかう。また年を通して週一回の国語常識・漢字テスト（テキスト使用）を実施する。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、課題テスト、各種提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	006
12 K	K	A0	A040	現代文	2	3	自・機・電	必修	国語総合の学習の基礎の上に立ち、近代以降の文学作品や評論を読み味わい、様々な人の生き方、考え方を知ることによって、私たちが生きている「現代社会」とはどのような社会なのか、そして、私たち自身はその中でどのように生きていくべきなのか、自分自身の生き方についてじっくりと考える教科。	評論、隨想、小説等を読む。他に文学史、詩歌などをあつかう。また年を通して週一回の国語常識・漢字テスト（テキスト使用）を実施する。	定期テスト（ $100 \times 5 = 500$ ）に、課題テスト、各種提出物・小テストなどの平常点を加える。	○	○	○	○	○	A0	006
13 K	K	B0	B050	地理A	2	1	工業2科	選択	世界の人々の生活・文化がそれぞれの地域でどのような特色をもっているか。それらを自然環境と社会環境の両面から考えていきながら、その自然環境と社会環境が地域でどのように関連しあって地域的特色を示していくかを理解する。その場合、世界と日本を比較しながら空間的かつ多面的に考えることによって、地理的な見方や考え方をつちかい、国際社会の一員として生きていく自觉と資質を養う。	(ア) 地理情報としての地図を正しく利用でき、それにより正しい地球観をもつ。(イ) 地形環境や気象環境を調べることによって、人間生活の自然的基礎である自然環境についての理解を深め、それが社会的環境にどのように影響を及ぼしているかを考える。	授業への参加を評価の前提とし、指示された作業帳・レポート等の提出を必須とする。その上で、①定期考査（年間5回500点満点）、②平常点（100点）、③授業への参加状況（出席状況・学習態度）を総合的に判断して評価する。	○	○	○	○	○	B0	020
14 F	F	B0	B050	地理A	2	1	普通科	選択	世界の人々の生活・文化がそれぞれの地域でどのような特色をもっているか。それらを自然環境と社会環境の両面から考えていきながら、その自然環境と社会環境が地域でどのように関連しあって地域的特色を示していくかを理解する。その後、世界と日本を比較しながら空間的かつ多面的に考えることによって、地理的な見方や考え方をつちかい、国際社会の一員として生きていく自觉と資質を養う。	(ア) 地理情報としての地図を正しく利用でき、それにより正しい地球観をもつ。(イ) 地形環境や気象環境を調べることによって、人間生活の自然的基礎である自然環境についての理解を深め、それが社会的環境にどのように影響を及ぼしているかを考える。	授業への参加を評価の前提とし、指示された作業帳・レポート等の提出を必須とする。その上で、①定期考査（年間5回500点満点）、②平常点（100点）、③授業への参加状況（出席状況・学習態度）を総合的に判断して評価する。	○	○	○	○	○	B0	020
15 F	F	B0	B020	世界史B	4	2	普通科	必修	人類の諸課題をどう解決するか、その歴史的な背景をふまえて深く考える必要がある。その為に、世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解し、さまざまな文化を育んだ過去の地域世界と、今日の一体となった世界の特徴と課題を把握したい。またその中で、歴史的な事実に基づきつつ、その上に成りたつさまざまなお解釈や見方を分析する歴史的な思考力を伸ばす事を重視する。	身近なテーマの学習で世界史への関心を高め、諸地域世界の特徴を把握し、諸地域を結ぶネットワークに注目する。ついで近代世界システム論をふまえ、16～18世紀の諸地域世界の結合と現代世界の原型の成立過程を理解する。特にヨーロッパ諸国に対する、日本を含むアジア・アフリカ・アメリカなどの対応に着目する。(19世紀以降は3年の選択科目で扱う)	①定期考査（年間5回500点満点）②平常点（100点満点）③出席状況・学習態度	○	○	○	○	○	B0	014
16 K	T	B0	B010	世界史A	2	2	工業技術科	必修	人類の諸課題をどう解決していくか、その歴史的な背景をふまえて深く考えていく必要がある。そのために、近現代史を中心とする世界の歴史を理解し、とくにその中の日本の位置や役割に注目したい。またその中で、歴史的な事実に基づきつつ、その上に成りたつさまざまなお解釈や見方を分析する歴史的な思考力を伸ばす事を重視する。	風土や環境、文化、宗教などに注目して、諸地域世界の特徴を把握し、15世紀までの世界史の基礎知識を身につける。16世紀以降の世界商業の進展と資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程と現代世界の特徴と課題を理解する。特にヨーロッパ諸国との動向と日本を含むアジア・アフリカ・アメリカなどの対応に着目する。	①定期考査（年間5回500点満点）②平常点（100点満点）③出席状況・学習態度	○	○	○	○	○	B0	012
17 F	F	B0	B020	世界史B	3		普通科	選択	戦争、環境、人権、民主政治などの人類の課題を解決していくには、現代の世界の成り立ちと特徴を知る必要がある。2年で18世紀まで学んだ事をふまえて、19世紀から今日までの世界の歴史を理解し、とくにその中の日本の位置や役割に注目したい。また対立する歴史の見方を比較・分析し、両者にどのような対話が可能か、考えてみたい。	19世紀以降の世界資本主義の確立と格差の拡大、国民国家の成立と戦争、民主主義と人権の進展を軸に、近現代の世界史を学ぶ。その中で日本の明治維新、自由民権運動、日清・日露戦争、アジア・太平洋戦争、高度経済成長などの位置づけや日本の役割を重視する。またセンター試験や論述の問題の演習を取り入れ、出題の意図にもせまりたい。	①定期考査（年間5回500点満点）②平常点（100点満点）③出席状況・学習態度	○	○	○	○	○	B0	015
18 F	F	B0	B040	日本史B	6	3	文理・文 理科系	選択	日本列島で展開した歴史の流れを、原始時代から現代まで通史的に、世界史的視野を交えて、総合的に理解させる。我が国独自の文化と伝統・特色についての認識を図版やパネルを使って深めさせ、歴史的なものの見方を養っていく。国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うことを目標とする。また、我が国の歴史展開について、時代ごとに区切らない主題を設定し、問題演習などを通して、歴史的な見方や思考を見つけさせる。	原始・古代・中世・近世に関する日本史を通史の形で講義する。入試問題を中心に問題演習も隨時行う。	定期テストは年5回の年間500点満点とする。提出物等の平常点は年間で100点満点とする。	○	○	○	○	○	B0	018

整理 No.	学 科 科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ード 2	No.
	学 科 科 目 名								学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名	学 科 科 目 名
19	F F B0 B040	日本史B	5 3	一般系	選択	日本列島で展開した歴史の流れを、原始時代から現代まで通史的に、世界史的視野を交えて、総合的に理解させる。我が国独自の文化と伝統・特色についての認識を図版やパネルを使って深めさせ、歴史的なものの見方を養っていく。国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うことを目標とする。また、我が国の歴史展開について、時代ごとに区切らない主題を設定したり、問題演習などを通して歴史における資料の活用及び文化財保護の意義について理解させることを行い、歴史的な思考力を見つけさせる。	原始・古代・中世・近世に関する日本史を通史の形で講義する。	定期テストは年5回の年間500点満点とする。提出物等の平常点は年間で100点満点とする。	○	○	○	○	○	B0	019
20	K Q B0 B010	世界史A	2 3	自動車科	必修	人類の諸課題はどう解決していくべきか、その歴史的な背景をふまえて深く考えていく必要がある。そのために、近現代史を中心とする世界の歴史を理解し、とくにその中の日本の位置や役割に注目したい。またその中で、歴史的な事実に基づきつつ、その上に成り立つさまざまな解釈や見方を分析する歴史的な思考力を伸ばすことを重視する。	風土や環境、文化、宗教などに注目して、諸地域世界の特徴を把握し、15世紀までの世界史の基礎知識を身に付ける。16世紀以降の世界商業の進展と資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程、及び現代世界の特徴と課題を理解する。特に、ヨーロッパ諸国の動向と日本を含むアジア・アフリカ・アメリカなどの対応に着目する。	①定期検査（年間5回500点満点）②平常点（100点満点）③出席状況、学習態度	○	○	○	○	○	B0	013
21	F F C0 B050	現代社会	2 3	普通科	必修	政治・経済的諸問題、環境問題、高度情報化社会の問題など現代の日本や世界が抱えているさまざまな課題、また青年期の心理や先哲の思想を通して人間の生き方をより方について考えます。	(1)環境問題・資源エネルギー問題 (2)科学技術の発達と生命 (3)青年期の問題 (4)よく生きること (5)現代の経済 (6)現代の経済 (7)国際社会と人類の課題	定期テスト（100×5=500）に、提出物・課題などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	B0	020
22	F F C0 C020	倫理	3 3	普通科	選択	青年期の意義や、現代社会の特質と課題に目を向け、また過去の多くの思想家の生き方や考え方を学ぶことを通して、人間の本質や現代社会を生きることの意味について深く考える目的とした科目です。特に哲学、宗教、社会科学、心理学などさまざまな分野にわたって著名な思想家の考え方をとりあげ、その意義について考えます。	(1)青年期の意義や自己の生き方の探求を通じて人間とは何かについて考える。(2)古代ギリシア哲学やキリスト教等の宗教、古代中国の思想を学ぶことによって、人間の生き方あり方について考える。(3)近現代思想の理解を通じて理性への信頼と人間の尊厳、民主社会のあり方について考える。(4)仏教・儒教・西洋哲学・キリスト教等の外来思想の受容が日本人の思想・文化に与えた影響を考える。	定期テスト（100×5=500）に、提出物・課題などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	C0	022
23	K K C0 B050	現代社会	2 3	工業2科	必修	政治・経済的諸問題、環境問題、高度情報化社会の問題など現代の日本や世界が抱えているさまざまな課題、また青年期の心理や先哲の思想を通して人間の生き方をより方について考えます。	(1)環境問題・資源エネルギー問題 (2)科学技術の発達と生命 (3)青年期の問題 (4)よく生きること (5)現代の経済 (6)現代の経済 (7)国際社会と人類の課題	定期テスト（100×5=500）に、提出物・課題などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	B0	020
24	K T D0 D060	数学B	2 3	工業技術科	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	「数列」「ベクトル」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	032
25	F F D0 D020	数学I	4 1	I類	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。また、このうち一単位を課題別に講座として、個々の課題に応じた展開を図る。	高等数学の基本となる「方程式と不等式」「二次関数」「図形と計算」について学習する。積極的に数学IIの先取り学習も行い、受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	024
26	F F D0 D020	数学I	4 1	II類	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	高等数学の基本となる「方程式と不等式」「二次関数」「図形と計算」について学習する。積極的に数学IIの先取り学習も行い、受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	025
27	F F D0 D050	数学A	2 1	普通科	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	高等数学の基本となる「集合と論理」「場合の数と確率」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	031
28	K Q D0 D050	数学A	2 1	自動車科	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	高等数学の基本となる「集合と論理」「場合の数と確率」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	031
29	K K D0 D020	数学I	3 1	工業2科	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	高等数学の基本となる「方程式と不等式」「二次関数」「図形と計算」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	026
30	F F D0 D030	数学II	4 2	文理・文理科系	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	数学I・Aの学習内容をふまえ、「式と証明・高次方程式」「図形と方程式」「いろいろな関数」「微分と積分」について学習する。状況に応じて可能な範囲で数学IIIの先取り学習も行う。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	027
31	F F D0 D060	数学B	2 2	文理・文理科系	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	032
32	F F D0 D060	数学B	2 2	一般系	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。進路に応じて、必要な内容を学習し、問題演習等を行う。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	032
33	F F D0 D030	数学II	3 2	一般系	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	数学I・Aの学習内容をふまえ、「式と証明・高次方程式」「図形と方程式」「いろいろな関数」「微分と積分」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	028
34	K Q D0 D060	数学B	2 2	自動車科	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	032
35	K K D0 D030	数学II	3 2	工業2科	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	数学Iの学習内容をふまえ、「式と証明・高次方程式」「図形と方程式」「いろいろな関数」「微分と積分」について学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	029
36	F F D0 D040	数学III	4 3	文理・文理科系	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学III」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	2年までの学習内容をふまえ、「極限」「微分法」「積分法」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	030
37	F F D0 D060	数学B	3 3	文理・文理科系	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。受験に向けた内容も積極的に学習し、状況に応じ、可能な範囲で入試問題等も取り扱う。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	033
38	F F D0 D070	数学C	2 3	文理・文理科系	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学C」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「行列」「式と曲線」「確率分布」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	035
39	K Q D0 D040	数学III	3 3	自動車科	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが、が学習の目的である。あわせて、問題を解いたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学III」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	2年までの学習内容をふまえ、「極限」「微分法」「積分法」について状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト（100×5=500）に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	030

整理No.	学科コード	学科コード	科目コード	科目名	単位数	学年	類科	備考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1学期中間考査	1学期期末考査	2学期中間考査	2学期期末考査	3学期期末考査	教科コード	No.	
	2	2	2	2								3	3	3	3	3	2	2	
40	K	Q	D0	D070	数学C	2	3	自動車科	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学C」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「行列」「式と曲線」「確率分布」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	035
41	K	T	D0	D050	数学A	2	2	探究	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	高等数学の基本となる「集合と論理」「場合の数と確率」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	031
42	K	T	D0	D040	数学III	3	3	探究	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学III」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	2年までの学習内容をふまえ、「極限」「微分法」「積分法」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	030
43	K	T	D0	D060	数学B	2	3	探究	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。状況に応じ、可能な範囲で受験に向けた内容も学習する。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	032
44	F	F	D0	D030	数学II	4	2	II類	必修	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。	数学I・Aの学習内容をふまえ、「式と証明・高次方程式」「图形と方程式」「いろいろな関数」「微分と積分」について学習する。積極的に数学IIIの先取り学習も行い、受験に向けた内容も学習する。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	027
45	F	F	D0	D060	数学B	2	2	II類	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学B」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「数列」「ベクトル」について学習する。受験に向けた内容も積極的に学習し、可能な範囲で入試問題等も取り扱う。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	033
46	F	F	D0	D040	数学III	4	3	II類	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学III」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	2年までの学習内容をふまえ、「極限」「微分法」「積分法」について学習する。受験に向けた内容も積極的に学習し、可能な範囲で入試問題等も取り扱う。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	030
47	F	F	D0	D070	数学C	2	3	II類	選択	数学の能力を高めること、そして、生活の中で数学的なものの見方や考え方ができることが学習の目的である。あわせて、問題を解けたときの喜びや達成感で、数学という学問の楽しさを味わう。「数学C」を受験科目とする人や数学の能力をより高めたい人のための講座である。	「行列」「式と曲線」「確率分布」について学習する。受験に向けた内容も積極的に学習し、可能な範囲で入試問題等も取り扱う。	定期テスト(100×5=500)に、提出物などの平常点を加える。	○	○	○	○	○	D0	035
48	F	F	E0	E020	理科総合A	2	1	普通科	必修	中学校理科の基礎の上に、自然の事物・現象についてエネルギーの考え方と物質の成り立ちを中心にして学習し、自然を総合的にとらえる見方や探求する能力、態度を養う。原子・分子・イオンの結びつきの変化で物質の性質が変わることやエネルギーの出入りについて理解する。また、力と仕事の基礎概念、及び力学的エネルギー保存の法則について理解する。	物質の成分、成分元素の検出、原子の構造、電子配置(1学期)イオン結合・共有結合・金属結合、原子量・分子量・式量、化学反応式と物質の量の関係、中和・酸化・還元・力(2学期)仕事・仕事率・運動エネルギー・位置エネルギー・力学的エネルギー保存の法則、熱・エネルギーの変換(3学期)	定期テスト500点(100×5)、実験レポート・課題等提出物50点とし、550点満点として評価する。	○	○	○	○	○	E0	036
49	K	T	E0	E020	理科総合A	2	1	工業技術科	必修	中学校理科の基礎の上に、自然の事物・現象についてエネルギーの考え方と物質の成り立ちを中心にして学習し、自然を総合的にとらえる見方や探求する能力、態度を養う。原子・分子・イオンの結びつきの変化で物質の性質が変わることやエネルギーの出入りについて理解する。また、力と仕事の基礎概念、及び力学的エネルギー保存の法則について理解する。	物質の成分、成分元素の検出、原子の構造、電子配置(1学期)イオン結合・共有結合・金属結合、原子量・分子量・式量、化学反応式と物質の量の関係、中和・酸化・還元・力(2学期)仕事・仕事率・運動エネルギー・位置エネルギー・力学的エネルギー保存の法則、熱・エネルギーの変換(3学期)	定期テスト500点(100×5)、実験レポート・課題等提出物50点とし、550点満点として評価する。	○	○	○	○	○	E0	036
50	K	Q	E0	E020	理科総合B	2	1	自動車科	必修	中学校理科の基礎の上に、自然の事物・現象について生物とそれを取り巻く地球環境について学習し、地球共生系という観点に立ち、我々が存在する環境を総合的にとらえる見方や探求する能力、態度を養う。原子・分子・イオンの結びつきの変化で物質の性質が変わることやエネルギーの出入りについて理解する。特に、自動車科においては、排気ガスの問題等・環境保全に關わる問題を多く含む部分を取り扱うので、その部分の基礎知識を身につけさせよう	地球環境の特徴と、その歴史的な変化、地球の歴史と生命体の歴史(1学期)、現在の地球環境と地殻・大気等の動き、現在の生物界の様子と地球共生系(2学期)、人類による環境保全に關わる問題を多く含む部分を取り扱うので、その部分の基礎知識を身につけさせよう	定期テスト500点(100×5)、実験レポート・課題等提出物50点とし、550点満点として評価する。	○	○	○	○	○	E0	036
51	F	F	E0	E130	物理I	3	2	文理・文理科系	選択	自然界で発生する現象には必ず法則性が存在する。このうち、運動と力学・波動・電磁気の各現象にある法則性について。理科総合における知識・理解をもとにして学ぶ。	自然界の法則を理解し、かつ、法則を用いて現象を考えられる知識・思考力を身につける。また、物理に関する法則の多くは数式によって表されるので、これを扱える力も身につける。学習の内容としては、「力と運動」「エネルギー」「電磁気」「波動」「光」など。	毎回の定期考査において、一定の基準点未満の場合は、その学習項目について不修得とし、1・2学期の学習項目については、回復テストを行い、これに合格すれば修得とする。また適宜課す提出物を採点の対象とする。	○	○	○	○	○	E0	038
52	F	F	E0	E230	化学I	3	2	文理・文理科系	選択	身の回りでおこる現象を科学的に考察する力を養う。物質の構造や性質、化学的基本的な法則を理解することで、その基礎を築く。	(1) 物質の構造 (2) 物質の変化 (3) 無機物質 (4) 有機化合物の4つの分野について学習する。(1)(2)で、化学変化の表し方や基本的な法則などについて学んだ後、(3)(4)で、各物質の性質や構造などについて詳しく学ぶ。	定期テスト(100×5=500)を基本とし、レポート・小テスト・課題の提出状況、授業態度などとともに総合的に評価する。	○	○	○	○	○	E0	041
53	F	F	E0	E330	生物I	3	2	文理・文理科系	選択	今日ほとんどの命を守るという課題が重要な時はありません。したがって私たちは生物とそれをとりまく世界の基本的な知識を身につけ、豊かで科学的な生命観、生物観を国民的教養の重要な構成部分として広く学ぶ必要があります。とりわけヒト自身を科学的にとらえ、生命を尊重する考えを学び取るようにします。また医学・農学・生物工学など応用生物学の基礎についても学習します	細胞・生命の連続性・遺伝現象・恒常性・刺激反応性・生態などを扱う。	定期考査(500点)及び実習報告書(100点)の合計点(600点)で評価する。実習技術点や報告書以外の提出物の内容も加味する。単位認定については、「定期考査が全て300点以上であること・実習報告書が全て提出されていること・合計点が180点以上であること」を満たした場合に認定される。	○	○	○	○	○	E0	044
54	F	F	E0	E330	生物I	3	2	一般系	必修	今日ほとんどの命を守るという課題が重要な時はありません。したがって私たちは生物とそれをとりまく世界の基本的な知識を身につけ、豊かで科学的な生命観、生物観を国民的教養の重要な構成部分として広く学ぶ必要があります。とりわけヒト自身を科学的にとらえ、生命を尊重する考えを学び取るようにします。また医学・農学・生物工学など応用生物学の基礎についても学習します	細胞・生命の連続性・遺伝現象・恒常性・刺激反応性・生態などを扱う。	定期考査(500点)及び実習報告書(100点)の合計点(600点)で評価する。実習技術点や報告書以外の提出物の内容も加味する。単位認定については、「定期考査が全て300点以上であること・実習報告書が全て提出されていること・合計点が180点以上であること」を満たした場合に認定される。	○	○	○	○	○	E0	045
55	K	Q	E0	E230	化学I	3	2	自動車科	必修	身の回りでおこる現象を科学的に考察する力を養う。物質の構造や性質、化学的基本的な法則を理解することで、その基礎を築く。	(1) 物質の構造 (2) 物質の変化 (3) 無機物質 (4) 有機化合物の4つの分野について学習する。(1)(2)で、化学変化の表し方や基本的な法則などについて学んだ後、(3)(4)で、各物質の性質や構造などについて詳しく学ぶ。	定期テスト(100×5=500)を基本とし、レポート・小テスト・課題の提出状況、授業態度などとともに総合的に評価する。	○	○	○	○	○	E0	042
56	K	Q	E0	E130	物理I	2	2	自動車科	選択	自然界で発生する現象には必ず法則性が存在する。このうち、運動と力学・波動・電磁気の各現象にある法則性について。理科総合における知識・理解をもとにして学ぶ。	自然界の法則を理解し、かつ、法則を用いて現象を考えられる知識・思考力を身につける。また、物理に関する法則の多くは数式によって表されるので、これを扱える力も身につける。学習の内容としては、「力と運動」「エネルギー」「電磁気」「波動」「光」など。	毎回の定期考査において、一定の基準点未満の場合は、その学習項目について不修得とし、1・2学期の学習項目については、回復テストを行い、これに合格すれば修得とする。また適宜課す提出物を採点の対象とする。	○	○	○	○	○	E0	039
57	K	T	E0	E130	物理I	3	2	工業技術科	必修	自然界で発生する現象には必ず法則性が存在する。このうち、運動と力学・波動・電磁気の各現象にある法則性について。理科総合における知識・理解をもとにして学ぶ。	自然界の法則を理解し、かつ、法則を用いて現象を考えられる知識・思考力を身につける。また、物理に関する法則の多くは数式によって表されるので、これを扱える力も身につける。学習の内容としては、「力と運動」「エネルギー」「電磁気」「波動」「光」など。	毎回の定期考査において、一定の基準点未満の場合は、その学習項目について不修得とし、1・2学期の学習項目については、回復テストを行い、これに合格すれば修得とする。また適宜課す提出物を採点の対象とする。	○	○	○	○	○	E0	039
58	F	F	E0	E140	物理II	3	3	文理・文理科系	選択	物理Iの基礎の上に立って、さらに高度な物理的概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観や思考を修得する。	円運動・単振動・万有引力・気体の分子運動・電流と磁界・電磁誘導・交流・原子の構造など。	毎回の定期考査において、一定の基準点未満の場合は、その学習項目について不修得とし、1・2学期の学習項目については、回復テストを行い、これに合格すれば修得とする。また適宜課す提出物を採点の対象とする。	○	○	○	○	○	E0	040
59	F	F	E0	E240	化学II	3	3	文理・文理科系	選択	身の回りでおこる現象を科学的に考察する力を養う。化学Iでの知識を発展させ、より身近な現象の理解を目指す。	化学Iでの学習を発展させ、化学の基本法則についてさらに詳しく学習する。	定期テスト(100×5=502)を基本とし、レポート・小テスト・課題の提出状況、授業態度などとともに総合的に評価する。	○	○	○	○	○	E0	043
60	F	F	E0	E430	地学I	3	3	一般系	必修	私たちが生まれ生活しているこの地球とそれを取り巻く宇宙についての基礎的内容を学ぶ。そして、これらみられる諸現象・法則性の理解を通じ、私たちのかげがない地球が直面している環境問題等を考える手がかりをつかみ取る。	(ア)太陽系から銀河系、宇宙全体の構造と進化を学び宇宙観の身につける。(イ)地球内部のエネルギーと運動と関連づけて、地球の構造や地殻変動のしくみを理解する。(ウ)太陽放射と海洋、大気の運動と気象現象について理解する。(エ)地球、宇宙や気象に関する学習を通して科学的な自然観を身につけるとともに環境問題等の人類が直面している諸課題について考える手がかりをつかむ。	定期考査5回500点と実習レポート年間100点の合計600点満点で評価する。次のいずれか一つも該当する場合は単位は認定されない。①総合点の点数が180点未満の場合。②実習レポートが1通でも未提出の場合。	○	○	○	○	○	E0	047

整理 No.	学 科 科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ード 2	No.
	学 科 科 目 名								单 位 数	学 年	類 科	備 考			
61	F F E0 E230 化学 I	3	3	一般系	選択	身の回りでおこる現象を科学的に考察する力を養う。物質の構造や性質、化学の基本的な法則を理解することで、その基礎を築く。	(1) 物質の構造 (2) 物質の変化 (3) 無機物質 (4) 有機化合物の4つの分野について学習する。(1) (2) で、化学変化の表し方や基本的な法則などについて学んだ後、(3) (4) で、各物質の性質や構造などについて詳しく学ぶ。	定期テスト (100×5=500) を基本とし、レポート、小テスト、課題の提出状況、授業態度などとともに総合的に評価する。	○ ○ ○ ○ ○ E0	○ ○ ○ ○ ○ E0	042				
62	F F E0 E340 生物 II	3	3	普通科	選択	生物 I で扱わなかった分野を、生物 I を基本として、さらに発展的に扱う。生物についての知識や考え方さらに深く学習する。理学部生物系や医学部・農学部・医療看護系などへの進学を希望する生徒は履修が望ましい。	生物の進化や系統、生物集団の生き方などについて学ぶ。生物 I の発展的内容としては、タンパク質と生命体の関係、遺伝物質である核酸の働きなどを扱う。	定期考查 (500点) 及び実習報告書 (100点) の合計点 (600点) で評価する。実習技術点や報告書以外の提出物の内容も加味する。単位認定については、「定期考查が全て30点以上であること・実習報告書が全て提出されていること・合計点が180点以上であること」を満たした場合に認定される。	○ ○ ○ ○ ○ E0	○ ○ ○ ○ ○ E0	046				
63	F F F0 F010 体育	3	1	普通科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	(男) 体育理論、集団行動、スポーツテスト、トレーニング、柔道、バスケットボール、陸上(短距離走)、ハンドボール、サッカー、ラグビー、陸上(長距離走) (女) 体育理論、集団行動、トレーニング、バレーボール、ダンス、陸上(障害走)、機械(マット)、バスケットボール、サッカー、陸上(長距離)	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	048
64	F F F0 F020 保健	1	1	普通科	必修	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	1. 現代社会と健康 1 健康の考え方 2 健康の取り組み 3 私たちの健康のすがた 4 生活習慣病の予防 5 食事と健康 6 運動・休養と健康 7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物乱用と健康 10 健康と意志決定・行動選択 11 感染症の予防 12 性感染症・エイズの予防 13 医薬品と健康 14 欲求と適応機制 15 心身の相関とストレス 16 心の健康のために 17 交通事故の現状と要因 18 交通事故を防ぐために 19 応急手当の意義と日常的な応急手当 20 心肺蘇生法の原理と手順 21 心肺蘇生のおこない方	各学期100点満点とし、定期テスト、ノート、長期休業中の課題等を総合的に評価する。	○	○	○	○	F0	054	
65	K K F0 F010 体育	3	1	工業2科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	体育理論、集団行動、スポーツテスト、トレーニング、柔道、サッカー、陸上(短距離)、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール、陸上(長距離)	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	051
66	K K F0 F020 保健	1	1	工業2科	必修	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	1. 現代社会と健康 1 健康の考え方 2 健康の取り組み 3 私たちの健康のすがた 4 生活習慣病の予防 5 食事と健康 6 運動・休養と健康 7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物乱用と健康 10 健康と意志決定・行動選択 11 感染症の予防 12 性感染症・エイズの予防 13 医薬品と健康 14 欲求と適応機制 15 心身の相関とストレス 16 心の健康のために 17 交通事故の現状と要因 18 交通事故を防ぐために 19 応急手当の意義と日常的な応急手当 20 心肺蘇生法の原理と手順 21 心肺蘇生のおこない方	各学期100点満点とし、定期テスト、ノート、長期休業中の課題等を総合的に評価する。	○	○	○	○	F0	056	
67	F F F0 F010 体育	3	2	普通科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	(男) 体育理論、集団行動、スポーツテスト、サッカー、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール、ラグビー、陸上(長距離) (女) バレーボール、ハンドボール、平均台、ダンス、サッカー、バスケットボール、陸上(長距離)	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	049
68	F F F0 F020 保健	1	2	普通科	必修	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	2. 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 思春期の性行動 3 結婚・家庭生活と健康 4 妊娠・出産期の健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 壮年期と健康 7 老年期と健康 8 保健・医療制度 9 医療制度一医療保険 10 地域保健・医療機関の活用と現代の医療 3. 社会生活と健康 1 環境汚染と健康 2 大気汚染と健康 3 水質汚濁と健康 4 土壌汚染・騒音・悪臭・産業廃棄物 5 公害による健康被害の救済と補償 6 環境の世纪へ循環型社会づくりをめざして 7 生活環境衛生活動 8 食品と健康 9 食品保健活動 10 労働と健康 11 労働災害とその防止 12 職業病とその防止 13 職場の健康と労働安全管理 14 はたらく人の健康増進	各学期100点満点とし、定期テスト、課題学習、課題学習の発表、長期休業中の課題等を総合的に評価する。	○	○	○	○	F0	055	
69	K K F0 F010 体育	2	2	工業2科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	体育理論、集団行動、スポーツテスト、バレーボール、柔道、サッカー、ハンドボール、陸上(長距離)	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	052
70	K K F0 F020 保健	1	2	工業2科	必修	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	2. 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 思春期の性行動 3 結婚・家庭生活と健康 4 妊娠・出産期の健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 壮年期と健康 7 老年期と健康 8 保健・医療制度 9 医療制度一医療保険 10 地域保健・医療機関の活用と現代の医療 3. 社会生活と健康 1 環境汚染と健康 2 大気汚染と健康 3 水質汚濁と健康 4 土壌汚染・騒音・悪臭・産業廃棄物 5 公害による健康被害の救済と補償 6 環境の世纪へ循環型社会づくりをめざして 7 生活環境衛生活動 8 食品と健康 9 食品保健活動 10 労働と健康 11 労働災害とその防止 12 職業病とその防止 13 職場の健康と労働安全管理 14 はたらく人の健康増進	各学期100点満点とし、定期テスト、課題学習、課題学習の発表、長期休業中の課題等を総合的に評価する。	○	○	○	○	F0	057	
71	F F F0 F010 体育	2	3	普通科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	(選択制グループ学習) 体育理論、集団行動、スポーツテスト、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ラグビー、ソフトボール、ハンドボール、テニス、卓球、バドミントン等	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	050
72	K K F0 F010 体育	2	3	工業2科	必修	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を促すと共に、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力と態度を育てる。	(選択制グループ学習) 体育理論、集団行動、スポーツテスト、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ラグビー、ソフトボール、ハンドボール、テニス、卓球、バドミントン等	各学期100点満点とし、意欲・関心・態度・能力等を総合的に評価する。そのうち、意欲・関心・態度を含む能力、技術点を60点とし、意欲・関心・態度を含む出席、参加点を40点とする。	×	×	×	×	×	F0	053
73	K Q HO H010 オーラルコミュニケーション I	2	2	自動車科	選択	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考え方などを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、このうち一単位を課題別の講座として、個々の課題に応じた展開を図る。	具体的な言語の使用場面を設定して英語を聞いたり話したりする練習を中心に学習する。	聞き方テストや会話テストを中心にはじめ、提出物や出欠、意欲・関心も加味して総合的に評価する。定期考查はない。	×	×	×	×	×	H0	071
74	F F HO H010 オーラルコミュニケーション I	2	1	II類	必修	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考え方などを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	具体的な言語の使用場面を設定して英語を聞いたり話したりする練習を中心に学習する。2週間に1回、外国人講師と会話を楽しむ。	聞き方テストや会話テストを中心にはじめ、提出物や出欠、意欲・関心も加味して総合的に評価する。定期考查はない。	×	×	×	×	×	H0	071
75	F F HO H010 オーラルコミュニケーション I	3	1	I類	必修	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考え方などを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、このうち一単位を課題別の講座として、個々の課題に応じた展開を図る。	具体的な言語の使用場面を設定して英語を聞いたり話したりする練習を中心に学習する。2週間に1回、外国人講師と会話を楽しむ。	聞き方テストや会話テストを中心にはじめ、提出物や出欠、意欲・関心も加味して総合的に評価する。定期考查はない。	×	×	×	×	×	H0	071
76	F F HO H030 英語 I	4	1	II類	必修	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考え方などを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	中学校で学習した内容を復習し、聞く、読む、話す、書く活動を総合的に学習する。単語・熟語や文法の勉強も行い、英語の基礎学力を身につけ、さらに発展的な学習にも取り組む。	定期テスト (100×5=500) に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。3学期の中間考查は文法のテストで50点満点で、期末考查の100点と合わせて100点換算する。	○	○	○	○	○	H0	072
77	F F HO H030 英語 I	3	1	I類	必修	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考え方などを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	中学校で学習した内容を復習し、聞く、読む、話す、書く活動を総合的に学習する。単語・熟語や文法の勉強も行い、英語の基礎学力を身につける練習をする。	定期テスト (100×5=500) に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。3学期の中間考查は文法のテストで50点満点で、期末考查の100点と合わせて100点換算する。	○	○	○	○	○	H0	073
78	K K HO H030 英語 I	3	1	工業2科	必修	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考え方などを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	中学校で学習した内容を復習し、聞く、読む、話す、書く活動を総合的に学習する。単語・熟語の勉強も行い、英語の基礎学力を身につける練習をする。また、月に1回、外国人講師と会話を楽しむ。	定期テスト (100×5=500) に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	074

整理 No.	科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ード 2	No.
	学 科 コ ード 2								学 科 コ ード	科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	单 位 数
79	F F H0 H040 英語Ⅱ	4	2	文理・文理科系	必修	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	英語の基礎学力を更に向上させるために、英語Ⅰの学習を踏まえて、聞く、読む、話す、書く活動、単語・熟語・構文練習などを総合的に学習する。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	076
80	F F H0 H040 英語Ⅱ	4	2	一般系	必修	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	英語の基礎学力を更に向上させるために、英語Ⅰの学習を踏まえて、聞く、読む、話す、書く活動などを総合的に学習する。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	075
81	F F H0 H080 ライティング	2	2	文理・文理科系	選択	情報や考え方などを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	平易な単語・熟語・構文を用いて、場面や目的に応じて概要や要点を書くだけでなく、自分の考えを整理して書いたり、読み手に理解されるように書く練習をする。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	081
82	F F H0 H090 生活英語	2	2	一般系	選択	日常生活に役立つ英語の基礎的な知識と技術を習得し、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	日常生活によく使われる標準的な英語能力(日常会話・掲示・説明書・簡単な手紙など)を身に付ける。英検などの資格試験にも挑戦する。週1回、外国人講師と発音の基礎やコミュニケーションゲームなどを楽しむ。	定期テストにスピーキングテスト、リスニングテスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	×	○	×	○	○	H0	083
83	K T H0 H080 ライティング	3	2	探究	必修	情報や考え方などを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	平易な単語・熟語・構文を用いて、場面や目的に応じて概要や要点を書くだけでなく、自分の考えを整理して書いたり、読み手に理解されるように書く練習をする。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	081
84	K K H0 H040 英語Ⅱ	2	2	工業2科	必修	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	英語の基礎学力を更に向上させるために、英語Ⅰの学習を踏まえて、聞く、読む、話す、書く活動などを総合的に学習する。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	077
85	F F H0 H070 リーディング	5	3	文理・文理科系	必修	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする学習だけでなく、英文を精読して深く分析的に読む練習や速読の練習、文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるよう音読する練習、リスニングの練習、更に総合的な入試問題も行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	079
86	F F H0 H080 ライティング	3	3	文理・文理科系	選択	2年次の学習を踏まえて、英語で書く高度な能力を身につけ、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	比較的高度な単語・熟語・構文を用いて、積極的に場面や目的に応じた文を書くだけでなく、自分の考えを整理して書いたり、読み手に理解されるように書いたりする練習をする。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	082
87	F F H0 H070 リーディング	4	3	一般系	必修	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする学習だけでなく、英文を精読して深く分析的に読む練習なども行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	080
88	F F H0 H080 ライティング	3	3	一般系	選択	2年次の学習を踏まえて、英語で書く能力を身につけ、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	単語・熟語・構文を用いて、場面や目的に応じて概要や要点を書くだけでなく、入試に対応した問題演習も行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	082
89	K T H0 H070 リーディング	4	3	探究	必修	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	まとまりのある英文を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりする学習だけでなく、英文を精読して深く分析的に読む練習なども行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、小テスト、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	080
90	K K H0 H040 英語Ⅱ	2	3	機械・電気	必修	英語の学力を確実なものにし、多種多様な練習を行い、総合力を身につけるために必要な練習をする。	英語Ⅱの教科書の後半部分の学習と総合的な読解問題、重要な文法・構文の学習などを行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	078
91	K Q H0 H040 英語Ⅱ	3	3	自動車科	必修	英語の学力を確実なものにし、多種多様な練習を行い、総合力を身につけるために必要な練習をする。	英語Ⅱの教科書の後半部分の学習と総合的な読解問題、重要な文法・構文の学習などを行う。	定期テスト($100 \times 5 = 500$)に、提出物、出欠、意欲・関心などの平常点を加え、総合的に評価する。	○	○	○	○	○	H0	078
92	F F G0 G110 音楽Ⅰ	2	1	普通科	選択	様々な音楽活動を通じ、感性を高め、技能を身につける。また表現と鑑賞の能力を伸ばす。基礎的なことは反復練習により習得するので忍耐力も必要となる。	ア) 曲に応じた発声を工夫し、曲想を把握した上で歌唱表現を目指す。イ) リコーダー、ギター、琴などの基本的奏法を学び、曲想を把握した上で器楽表現を目指す。ウ) 合唱や合奏の中での表現を工夫する。エ) 楽典を学び、音楽のしくみを理解する。オ) 古今の音楽表現を味わい、鑑賞能力を磨く。	実技発表やレポートの作成で実力を発揮できることはもちろん、普段の授業において取り組んでいる姿勢や努力を加味する。	×	×	×	×	×	G0	058
93	F F G0 G210 美術Ⅰ	2	1	普通科	選択	課題にもとづくイメージを具体化する方法を知り、作品制作の基礎を学ぶ。また色々な素材にふれ、それを活かしながら表現できる技術と柔軟な発想を身につける。	高校で学ぶ美術の基礎を学習します。①鉛筆による100マス絵画 ②石膏による抽象彫刻 ③テーマに基づく切り絵 ④テーマに基づく版画 ⑤インスタントカップオーリジナル食品のデザイン ⑥作品合評会	作品の制作過程と提出された作品・レポートの総合評価とします。普段の関心・意欲・態度・計画性・独創性・完成度・鑑賞力・提出状況等を判断します。	×	×	×	×	×	G0	062
94	F F G0 G310 工芸Ⅰ	2	1	普通科	選択	「ものづくり」を通して、自分の生活を見つめ直し、ものの成り立ちや素材について認識を深め、豊かな生活感覚を養う。作品は、自分が「使う」ことをイメージして、オリジナルな表現を工夫する。素材の「よさ」を生かし、道具の使い方・加工・塗装の基本技法を学び、「つくる楽しみ」を味わう。様々な作品の鑑賞を通して、感性を磨き、伝統工芸にも理解を深める。「ものづくり」を通して、ものを大切にする心情を養い、環境問題にも目を向ける。	素材(木・粘土・布・樹脂・金属など)のよさ(特質)を知り、美しく味わい豊かな表現を工夫する。自分が「使う」ことをイメージして、アイデアを製図する。素材に応じて、様々な道具・工具の使い方を理解し、加工・研磨・塗装・装飾的基本技法を学ぶ。○『木』で身边に使うものをつくる!オリジナルナルクオーツ・ピンバップボード・ラック・飾り棚・カレンダーなど○『陶芸一マグカップ』タラづくり(板づくり)で成型し、染め付けで絵付けをする。○『樹脂(アクリル)』でアクセサリーをつくる!アクリルの特性を生かす。	○アイデア・製図・感想文など(独創性・工夫度・計画性・鑑賞力を評価)○加工・塗装・装飾仕上げ(素材の理解・加工の工具・使いやすさ・美しさ・完成度を評価)○授業態度・課題提出状況・出欠(関心・意欲・態度を評価)→以上を総合的に判断して評価する。	×	×	×	×	×	G0	066
95	K K G0 G110 音楽Ⅰ	2	1	工業2科	選択	様々な音楽活動を通じ、感性を高め、技能を身につける。また表現と鑑賞の能力を伸ばす。基礎的なことは反復練習により習得するので忍耐力も必要となる。	ア) 曲に応じた発声を工夫し、曲想を把握した上で歌唱表現を目指す。イ) リコーダー、ギター、琴などの基本的奏法を学び、曲想を把握した上で器楽表現を目指す。ウ) 合唱や合奏の中での表現を工夫する。エ) 楽典を学び、音楽のしくみを理解する。オ) 古今との音楽表現を味わい、鑑賞能力を磨く。	実技発表やレポートの作成で実力を発揮できることは重要であることはもちろん、普段の授業において取り組んでいる姿勢や努力を加味する。	×	×	×	×	×	G0	059
96	K K G0 G210 美術Ⅰ	2	1	工業2科	選択	課題にもとづくイメージを具体化する方法を知り、作品制作の基礎を学ぶ。また色々な素材にふれ、それを活かしながら表現できる技術と柔軟な発想を身につける。	高校で学ぶ美術の基礎を学習します。①鉛筆による100マス絵画 ②石膏による抽象彫刻 ③テーマに基づく切り絵 ④テーマに基づく版画 ⑤インスタントカップオーリジナル食品のデザイン ⑥作品合評会	作品の制作過程と提出された作品・レポートの総合評価とします。普段の関心・意欲・態度・計画性・独創性・完成度・鑑賞力・提出状況等を判断します。	×	×	×	×	×	G0	063
97	K K G0 G310 工芸Ⅰ	2	1	工業2科	選択	「ものづくり」を通して、自分の生活を見つめ直し、ものの成り立ちや素材について認識を深め、豊かな生活感覚を養う。作品は、自分が「使う」ことをイメージして、オリジナル(独創的)な表現を工夫する。素材の「よさ」を生かし、道具の使い方・加工・塗装の基本技法を学び、「つくる楽しみ」を味わう。様々な作品の鑑賞を通して、感性を磨き、伝統工芸にも理解を深める。「ものづくり」を通して、ものを大切にする心情を養い、環境問題にも目を向ける。	素材(木・粘土・布・樹脂・金属など)のよさ(特質)を知り、美しく味わい豊かな表現を工夫する。自分が「使う」ことをイメージして、アイデアを製図する。素材に応じて、様々な道具・工具の使い方を理解し、加工・研磨・塗装・装飾的基本技法を学ぶ。○『木』でつくる収納BOX『機能と収納スペースを考えてデザイン・製作する。BOX表面の装飾。○『磁器・マグカップ』上絵付け用絵の具で着彩。シルクスクリーンやステンレスなどの技法を使う。○『錆金メタル』でアクセサリーをつくる!錆金メタルの特性を理解する。	○アイデア・製図・感想文など(独創性・工夫度・計画性・鑑賞力を評価)○加工・塗装・装飾仕上げ(素材の理解・加工の工具・使いやすさ・美しさ・完成度を評価)○授業態度・課題提出状況・出欠(関心・意欲・態度を評価)→以上を総合的に判断して評価する。	×	×	×	×	×	G0	067
98	F F G0 G120 音楽Ⅱ	2	2	普通科	選択	音楽Ⅰで学んだことをさらに高めていく。感性を高め、技能を深め、個性豊かな表現の能力と、主体的な鑑賞の能力を伸ばす。グループ活動が増えるので、社会性、協調性が必要となる。	ア) 各種ジャンルの歌に取り組み、個性豊かな表現を目指す。イ) リコーダー・ギター・琴などの奏法を習熟する。ウ) 合唱や合奏の中での豊かな表現を目指す。エ) 楽典を駆使し、作曲をする。オ) 古今との音楽表現を味わい、その歴史的、文化的背景を理解する。	実技発表やレポートの作成で実力を発揮できることは重要であることはもちろん、普段の授業において取り組んでいる姿勢や努力を加味する。	×	×	×	×	×	G0	060
99	F F G0 G220 美術Ⅱ	2	2	普通科	選択	独創的な作品を追求し、制作を通して自己表現の喜びを味わう。また油絵制作の技術とイメージを視覚化する具体的な作業から感性を磨く。完成作品は、お互いに鑑賞しあう機会をとおして批評力を高める。	美術Ⅱの発展的内容を学習します。①モノクローム絵画(スプーンに映る自画像) ②テーマに基づくジグソーパズル制作 ③テーマに基づく油絵制作 ④テーマに基づく段ボールオブジェ制作⑤作品評議会	作品の制作過程と提出された作品・レポートの総合評価とします。普段の関心・意欲・態度・計画性・独創性・完成度・鑑賞力・提出状況等を判断します。	×	×	×	×	×	G0	064
100	F F G0 G320 工芸Ⅱ	2	2	普通科	選択	身近な生活空間への関心を深め、「つくるもの」の使用目的・場所・機能を考え、自ら「使いたい! つくりたい!」テーマ(主題)を見つけて、オリジナル(独創的)な表現を工夫する。素材の「よさ」を理解し、表現方法に応じた材料の選択や加工方法の工夫をする。伝統工芸に学び、作品づくりに生かしてみる。素材選びを通して、ものの大切さや環境問題について考えを深める。	○アイデア・製図・感想文など(独創性・工夫度・計画性・鑑賞力を評価)○加工・塗装・装飾仕上げ(素材の理解・加工の工具・使いやすさ・美しさ・完成度を評価)○授業態度・課題提出状況・出欠(関心・意欲・態度を評価)→以上を総合的に判断して評価する。	○アイデア・製図・感想文など(独創性・工夫度・計画性・鑑賞力を評価)○加工・塗装・装飾仕上げ(素材の理解・加工の工具・使いやすさ・美しさ・完成度を評価)○授業態度・課題提出状況・出欠(関心・意欲・態度を評価)→以上を総合的に判断して評価する。	×	×	×	×	×	G0	068
101	F F G0 G130 音楽Ⅲ	2	3	一般系	選択	音楽Ⅰ、Ⅱで学んだ内容をさらに深く追求する。特に自分の得意な分野を深めていく。お互いの音楽表現を味わい、批評し合って、視野を広めていく。生涯にわたって音楽を愛好する心情と、音楽文化を尊重する態度を身につける。	ア) 歌唱・器楽・作曲の手法を駆使して様々な音楽活動を行いう) 古今の大範な音楽表現を味わい、他の芸術との関わりについても理解を深める。	実技発表やレポートの作成で実力を発揮できることは重要であることはもちろん、普段の授業において取り組んでいる姿勢や努力を加味する。	×	×	×	×	×	G0	061

整理 No.	学 科 科 目 コ ード	学 科 科 目 コ ード	科 目 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 科 目 コ ード	No.		
102	F	F	G0	G230	美術Ⅲ	2	3	一般系	選択	美術Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を活かし、さらに深く総合的な作品制作に取り組む。特に自分の得意とする分野を深めていく。生涯にわたり、美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を身につける。	総合的な作品制作の学習をします。①オリジナルTシャツデザインとプリント ② 絵画(読書感想画) ③テーマに基づく木彫(油粘土のエスキース制作から彩色まで) ④作品品評会とレポート作成	作品の制作過程と提出された作品・レポートの総合評価とします。普段の関心・意欲・態度・計画性・独創性・完成度・鑑賞力・提出状況等を判断します。	×	×	×	×	×	G0	065
103	F	F	G0	G330	工芸Ⅲ	2	3	一般系	選択	I・Ⅱで学んだことを生かし、製図・加工・塗装・装飾の技術を確かなものにする。身のまわりの生活環境をしっかり見つめ直し、自らテーマを見つけ、計画し、製作できるようになる。生活の中で必要としているものを身近に手に入るものの使い、将来生活の中で役に立つ技術を身につける。新素材や伝統的な技法を積極的に取り入れ、表現の幅を広げ、内容を深める。環境問題について、何が必要か考えてみる。	工芸Ⅰ・Ⅱで学んだことを生かし、さらに新しい素材・技法を取り入れ、自由な発想で作品をつくる。製作を通して「つくるよろこび」を味わい、日常の生活空間を美的な感性で教えていく豊かな心を育てる。『課題Ⅰ・木でつくる』身近に手に入る木材を使って、自分の生活中で必要なものをつくる。『課題Ⅱ・自由課題』自分の得意分野がら、3年間の最後の作品としてふさわしいものをつくる。※『課題Ⅰ』『課題Ⅱ』の年間製作計画(テーマ設定・素材選び・製作プロセス)を自分で作成。	○アイデア・製図・感想文など(独創性・工夫度・計画性・鑑賞力を評価) ○加工・塗装・装飾仕上げ(素材の理解・加工の工夫・使いやすさ・美しさ・完成度を評価) ○授業態度・課題提出状況・出欠(関心・意欲・態度を評価) →以上を総合的に判断して評価する。	×	×	×	×	×	G0	069
104	F	F	G0	G440	生活の中の書	2	3	一般系	選択	日常生活における書に注目し、実用的な書を正しく美しく書く能力と、芸術作品としての書を愛好する心情を養う。	基本用筆から始め、氏名の書き方などの実用書を学ぶ(硬筆もあり)。書作品や工芸作品(印・刻字)作りにも取り組む。	完成作品・草稿・制作過程・感想を総合して評価(基礎力・表現力・創造力・鑑賞力・提出状況)	×	×	×	×	×	G0	070
105	K	K	I0	I010	家庭基礎	2	1	Ⅱ類	必修	現代の家庭生活をとりまく諸問題に目を向け、健康で人間らしい生活を送るために必要な知識・技術を身につける。	(1) 食生活と健康 (2) 子どもの発達と保育・福祉 (3) 環境問題(循環型社会への転換)について学習する	定期考査の成績を基本とし、課題や授業プリントの提出を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	I0	086
106	K	K	I0	I010	家庭基礎	2	1	工業2科	必修	現代の家庭生活をとりまく諸問題に目を向け、健康で人間らしい生活を送るために必要な知識・技術を身につける。	(1) 食生活と健康 (2) 子どもの発達と保育・福祉 (3) 環境問題(循環型社会への転換)について学習する	定期考査の成績を基本とし、課題や授業プリントの提出を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	I0	086
107	F	F	I0	I030	家庭総合	2	1	I類	必修	現代の家庭生活をとりまく諸問題に目を向け、健康で人間らしい生活を送るために必要な知識・技術を身につける。	(1) 食生活と健康 (2) 子どもの発達と保育・福祉 (3) 環境問題(循環型社会への転換)について学習する	定期考査の成績を基本とし、課題や授業プリントの提出を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	I0	087
108	F	F	I0	I030	家庭総合	2	2	I類	必修	現代の家庭生活をとりまく諸問題に目を向け、健康で人間らしい生活を営むために必要な知識・技術を身につける。	(1) 子どもの発達と福祉 (2) 消費者問題 (3) 衣生活 (4) 住生活 (5) 家族・家庭生活	定期考査の成績を基本とし、課題や授業プリントの提出を平常点として加味して評価する。	○	○	○	○	○	I0	088
109	F	F	I0	I090	フードデザイン	2	2	一般系	選択	現代の食生活をとりまく様々な問題に目を向け、健康でよりよい食生活を営むために必要な知識・技術を身につける。	栄養素の消化吸収、食べ物のおいしさ(味覚、嗅覚など)、日本の行事食、各国の料理様式と献立・作法、栄養の知識と調理理論、調理実習(年間12回程度)	定期考査の成績および実習レポートなどの提出物を総合評価する。実習の取り組みや課題の提出を重視する。	×	○	×	○	○	I0	091
110	F	F	I0	I065	発達と保育	3	3	一般系	選択	子どもの発達についての理解を深め、発達を保障するための条件や社会のあり方について学ぶ。卒業後、幼児教育関連への進学希望者を優先する。	(1) 子どもの現状 (2) 子どもの発達 (3) 子どもの文化と遊び (4) 子どもの福祉について学習する。保育所実習や絵本づくり、レポート作成などに取り組む。卒業後、幼児教育関連への進学希望者を優先する。	定期考査の成績と、実習への参加や課題・作品の提出などを総合して評価する。	×	○	×	○	○	I0	089
111	F	F	I0	I085	被服製作	3	3	一般系	選択	手縫いやミシン縫い、編み物を通じて手芸作品・簡単な日常着を製作できる力を養い、ものを作ることの喜びを味わう。	(1) 刺し子のトートバッグ (2) ショートパンツ (3) 編み物(マフラー) (4) 手芸作品の製作	実習科目であるため、作品の提出および平常の作品製作の取り組みを総合して評価する。	×	×	×	×	×	I0	090
112	F	F	K0	M800	技術一般	2	2	一般系	選択	ものづくりを通して製作技術の基本を習得し、系統的に解決する力および創造性を養う。	(1) 基本製作(木工・金工・電気的製作) (2) 自由課題(企画・設計・製作)	①作品点(完成度、完成時間など) ②授業点(出席点、態度点、作業点など) ③①、②の合計の得点率により評価する。	×	×	×	×	×	K0	161
113	K	T	P	M100	機械工作	2	3	機械	必修	各種材料の加工性や工作法など機械工作に関する基礎的な知識と技術を、科目「実習」での学習内容と関連させながら理解し、実際の現場において、活用できる能力と態度を養う。	実習での体験と関連させながら、以下のような内容を学習する。①機械工作や工作機械の概略を学習②厚板・薄板・棒材などの材料について学習③各種切削加工の方法、工具材料やより良い加工をするための切削条件等を学習④プレス加工等の塑性加工について学習⑤鋸造、鍛造、射出成形、粉末冶金等の方法について学習⑥工作機械の概略から各種工作機械の仕組み等について学習⑦各種材料の製造方法や性質・特徴等について学習	年間5回の定期考査の成績に、小テスト、ノート提出や授業への参加・出席状況等から、(意欲・関心・態度)、(知識・理解)、(技能・表現)の4観点で総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	013
114	K	T	P	M040	実習	6	2	機械	必修	工業に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身につける。	学習内容は以下の4項目、「機械加工」「溶接」「鋸造」「制御」である。授業は実技が中心です。	実習中の態度・姿勢など、積極的な授業への参加態度や技術を学ぶ意欲を重視する。技術習得の目安として課題作品を評価する。知識理解の目安とて、レポート提出・口頭試問・定期考査を行い評価する。	×	○	×	○	○	M0	009
115	K	T	P	M050	機械製図	2	2	機械	必修	製図に関する日本工業規格及び各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得し、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し製作する能力と態度を身につける。	軸受・やり形片ロスバナの写図、ボルト・ナットの写図、豆ジャッキの製図(スケッチ、作図)、CAD	図面の正確さ、明瞭さ、迅速さと提出状況や授業への取り組みを加味しL4観点に基づいて総合的に判断する。1) 年生での製図技術が身についているか。(知識・理解、関心・意欲・態度、技能・表現) 2) 正確な図面の作成と理解(知識・理解、思考・判断) 3) 基礎製図検定レベルの技能が得てできているか。(技能・表現) 4) 授業への取り組み、人に説明・表現できる力がついているか。(関心・意欲・態度、技能・表現)	×	○	×	○	○	M0	011
116	K	T	P	M100	機械工作	2	2	機械	必修	各種材料の加工性や工作法など機械工作に関する基礎的な知識と技術を、科目「実習」での学習内容と関連させながら理解し、実際の現場において、活用できる能力と態度を養う。	実習での体験と関連させながら、以下のような内容を学習する。①機械工作や工作機械の概略を学習②厚板・薄板・棒材などの材料について学習③各種切削加工の方法、工具材料やより良い加工をするための切削条件等を学習④プレス加工等の塑性加工について学習⑤鋸造、鍛造、射出成形、粉末冶金等の方法について学習⑥工作機械の概略から各種工作機械の仕組み等について学習⑦各種材料の製造方法や性質・特徴等について学習	年間5回の定期考査の成績に、小テスト、ノート提出や授業への参加・出席状況等から、(意欲・関心・態度)、(知識・理解)、(技能・表現)の4観点で総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	013
117	K	T	P	M110	機械設計	4	2	機械	必修	機械設計に関する基礎的な知識と技術を習得し、機械、器具などを創造的、合理的に設計する能力と態度を養う。	第1章 機械と設計 第2章 機械に働く仕事と力 第3章 材料の強さ	年間5回の定期考査の成績に、小テスト、課題・ノートの状況や授業への取り組み・出席状況等を加味し、(意欲・関心・態度)、(知識・理解)、(思考・判断)、(技能・表現)の4観点で総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	014
118	K	T	P	M320	生産システム技術	2	2	機械	必修	電気、電子、機械、計測、制御、生産管理とシステム技術の基礎的な内容を取り扱い、生産システム技術に関する基礎的な知識と技術を総合的に学習し、自動化工場、生産現場における管理システムの分野などの実際の生産現場に活用できる能力と態度を養う。	電気・電子の基礎となる直流回路、磁気と静電気、交流回路。電気を使用するにあたって安全面に重点を置いた電気設備。基本的な電子回路。計測・制御の基本を学び生産管理とシステム技術にどのように活用されているかを学ぶ。	中間・期末の定期考査の成績に課題、小テストの成績、ノートの提出状況状況、授業の取り組みを加味し総合評価する。	○	○	○	○	○	M0	018
119	K	T	P	M040	実習	4	3	機械	必修	工業に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身につける。	学習内容は以下の5項目、「機械加工」「NC機械」「原動機」「電子制御」「情報技術」である。授業は実技が中心です。	実習中の態度・姿勢など、積極的な授業への参加態度や技術を学ぶ意欲を重視する。技術習得の目安として課題作品を評価する。知識理解の目安とて、レポート提出・口頭試問・定期考査を行い評価する。	×	○	×	○	○	M0	019
120	K	T	P	M050	機械製図	2	3	機械	必修	製図に関する日本工業規格及び各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得し、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し製作する能力と態度を養う。	製図について基礎的な知識と技術の復習と、CADシステムについての説明CADの操作方法:直線・円弧・面取りなど。支持台、軸受けふた、ボルトナット、ウォームギア、パンタグラフねじ式ジャッキをCADにより作成する。	中間・期末の定期考査の成績に図面提出状況や授業への取り組みを加味し四観点に基づいて総合的に判断する。	×	×	×	×	×	M0	021

整理No.	学科コード	学科コード	科目コード	科目名	単位数	学年	類科	備考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1学期中間考査	1学期期末考査	2学期中間考査	2学期期末考査	3学期期末考査	教科コード	No.	
	2	2	2	2								2	2	2	2	2	2		
121	K	T	P	M110	機械設計	2	3	機械	必修	機械設計に関する基礎的な知識と技術を修得し、機械・器具などを創造的、合理的に設計する能力を養う。	先に学習した基礎的な力学、材料力学の知識をふまえながら代表的な機械要素・部品の設計計算法を習得する。具体的には、第4章ねじ 第5章軸とその部品、第6章リンクとカム、第7章歯車、第8章巻掛伝動装置、第9章ブレーキおよびばねと緩衝装置	年間5回の定期考査の成績に、小テスト、課題・ノートの状況や授業への取り組み・出席状況等を加味し、(意欲・関心・態度)、(知識・理解)、(思考・判断)、(技能・表現)の四観点で総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	024
122	K	T	P	M120	原動機	3	3	機械	必修	エネルギーと環境、流体機械、内燃機関、など各種原動機の構造と機能に関する知識・技術を習得し、エネルギーの有効利用、環境保全に配慮して原動機を有効に活用する能力と態度を身につける。	○エネルギーの利用と変換○流体機械○内燃機関	各定期考査の成績に授業中行った確認テストの成績、ノート提出状況や授業への取り組みを加味し、4観点に基づき総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	026
123	K	T	P	M140	電子機械	3	3	機械	必修	電子機械に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を養う。	第1章 身近な電子機械／電子機械と生産ライン 第3章 センサの基礎／機械量を検出するセンサ／物体を検出するセンサ／その他のセンサ／アクチュエータの基礎／アクチュエータ駆動素子とその回路／アクチュエータとその利用／ 第4章 制御の基礎	年間5回の定期考査の成績に、小テスト、課題・ノートの状況や授業への取り組み・出席状況等を加味し、(意欲・関心・態度)、(知識・理解)、(思考・判断)、(技能・表現)の四観点で総合的に判断する。	○	○	○	○	○	M0	027
124	K	T	R	M210	電子技術	2	2	電気	必修	電子技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)半導体と電子回路 (2)通信システムの基礎 (3)画像通信の基礎 (4)音響システムの基礎	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	149
125	K	T	R	M190	電気機器	3	3	電気	必修	電気機器及び電気材料に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)直流機器 (2)交流機器 (3)電気材料	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	145
126	K	T	R	M040	実習	6	2	電気	必修	専門科目で学習する内容を実験・実習を通して確認することにより理解を深め、電気に関する専門的な技術を身につける。	(1)計測実習 (2)電気工事 (3)電気機器 (4)電子技術 (5)製作実習	①授業点(出席点、態度点、など) ②技術点(作業点、技能点など) ③レポート点(提出点、内容) ④①、②、③の合計で総合的に判断し、評価する。	×	○	×	○	○	M1	102
127	K	T	R	M050	電気製図	2	2	電気	必修	製図に関する日本工業規格及び各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。	(1)CADシステムの利用 (2)専門分野における設計・製図	①作品点(完成度、完成時間など) ②授業点(出席点、態度点、作業点など) ③課題に応じた①、②の得点配分により総合的に判断し、その得点率によって評価する。	×	×	×	×	×	M1	114
128	K	T	R	M180	電気基礎	4	2	電気	必修	電気に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)交流回路 (2)電気計測	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	142
129	K	T	R	M200	電力技術	2	2	電気	必修	電力技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)配電と屋内配線 (2)電気関係法規 (3)発電と送電	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	147
130	K	T	R	M040	実習	4	3	電気	必修	工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。	(1)自動制御 (2)電気工事 (3)電気機器 (4)電子技術	①授業点(出席点、態度点、など) ②技術点(作業点、技能点など) ③レポート点(提出点、内容) ④①、②、③の合計で総合的に判断し、評価する。	×	○	×	○	○	M1	103
131	K	T	R	M200	電力技術	3	3	電気	必修	電力技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)発電と送電 (2)各種の電力応用 (3)自動制御	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	148
132	K	T	R	M260	電子情報技術	2	3	電気	必修	電子情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)制御プログラミング (2)コンピュータの利用とネットワークシステム	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	155
133	K	T	R	M260	電気応用実習	2	3	電気	必修	工業技術基礎や2年実習で学んだ電気に関する技術について、さらに専門性を深め、座学で学んだことを実践的に応用しながら、確かな技能・技術を習得する。そのために、設定された実習内容の中から1つを選択して実習を行う。	①電力技術応用実習 ②電子技術応用実習 ③コンピュータ制御実習	実習中の態度・姿勢など、積極的な授業への参加態度や技術を学ぶ意欲を重視する。技術習得の目安として課題作品を評価する。知識理解の目安として、レポート提出・口頭試問を行い評価する。	×	×	×	×	×	M1	155
134	K	T	R	M140	電子機械	3	3	電気	必修	電子機械に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。	(1)電子機械の概要と役割 (2)機械の機構と運動の伝達 (3)センサとアクチュエータの基礎 (4)シーケンス制御の基礎 (5)コンピュータ制御の基礎	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M1	135
135	K	T	T	M040	テクニカルデザイン	2	2	探究	必修	三面図(平面図)を読み取り製図できる力を確実なものにし、立体図を描く手法を習得する。ユニバーサルデザインについて検討できる力をつける。	①テクニカルイラストレーションの基礎 ②CADシステムによる立体図の作成 ③立体図の作図(基礎) ④立体図の作図(応用) ⑤ユニバーサルデザインについて	①作品点(完成度、完成時間など) ②授業点(出席点、態度点、作業点など) ③課題に応じた①、②の得点配分により総合的に判断し、その得点率によって評価する。	×	×	×	×	×	M0	009
136	K	T	T	M040	ロボット科学	4	3	探究	必修	ロボット技術の基本技術である機械技術や電気技術、制御技術等についての基礎・基本知識と技術を確立することにより、ロボット技術の基礎知識や技術と共に、応用力を身につける。また、ロボットと人間社会の関わりについて創造的に探求する力をつける。	①ロボット制御の基礎 ②マイコン制御 ③モータの制御 ④センサの制御 ⑤ロボット製作技術	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M0	009
137	K	T	T	M090	課題研究	4	3	工業技術科	必修	工業に関する課題を自ら設定し、自らその課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。	技術探究・機械技術・電気技術同時に開講とし、班編制はコースにまたがって行うことを可とする。これまでに学習した内容を基礎に、さらに学習を深め、自ら課題を設定し、作品制作や調査・研究を行つ。	授業中の態度・姿勢など、課題解決へ向けて、知識や技術を伸ばす積極的に取り組む姿勢を重視する。製作技術や協調性、提案力、発表能力と態度、レポートなどを含めて総合的に判断して評価する。	×	×	×	×	×	M0	031
138	K	T	T	N010	工業技術基礎	6	1	工業技術科	必修	工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、現代社会における工業の意義や役割を理解する。また、2年生からの各専門コースを自ら選択できる素养を養う。	○事前指導(実習の心構え、安全第一の心得、各作業内容、レポートについて)○金属加工(切削加工、塑性加工等)○電気実験(電気・電子部品の基礎実験等)○材料試験(金属材料の基礎実験)○計測・制御(機械・電気の計測の基礎、PCによる制御等)○電気配線(屋内配線の基礎等)	各テーマのレポートや作品等の提出物や実習への参加・出席状況、各学期末実施の定期テスト等から総合的に判断する。	×	○	×	○	○	N0	001
139	K	T	T	N050	製図	2	1	工業技術科	必修	機械製図の導入段階として、図面の必要性とその役割について理解をする。日本工業規格および製図規格の必要性とその役割を理解し、産業界で用いられる種々の図面の概略、特に生産加工に用いられる図面に重点をおいて学習する。そして作業に際しては、製図用具を正しく使用する基礎知識と技能を習得し、課題提出の期限を厳守する習慣を養う。	(a)基礎－図面の役割と種類／製図用具の取り扱い／製図用紙の大きさ(b)文字と線一文字／線の形と太さ／線の種類と用途(c)投影図－正投影図／第三角法／正面図の選び方(d)課題一平面図／正面図／側面図／等角図／断面図／補助投影図／寸法記入／ボルト・ナット／まとめるテス(e)图形の表し方－主投影図／その他の投影図／特別な図示法／断面図示しないもの(f)寸法記入一寸法記入の方法／寸法補助記号／角度／テーパ	図面の正しさ、明瞭さ、迅速さと提出状況や授業への取り組みを加味し4観点に基づいて総合的に判断する。 1) 製図の基礎的な技術が身についているか。(知識・理解、関心・意欲・態度、技能・表現) 2) 正確な図面の作成と理解(知識・理解、技能・表現) 3) 基礎的製図検定レベルの技能の習得ができるているか。(知識・理解、思考・判断) 4) 授業への取り組み、人に説明、表現できる力をついているか。(関心・意欲・態度、技能・表現)	×	○	×	○	○	N0	003
140	K	T	T	N080	情報技術基礎	2	1	工業技術科	必修	今日の工業技術に欠かせない情報技術に関する基礎的な知識と技術について学び、他の工業科の学習に必要とされる知識の基礎を習得し、対応する力を養う。	「産業社会と情報技術」「ソフトウェア」「プログラミング」「ハードウェア」「マルチメディア・制御・通信」の5項目を基本とし、情報技術の基礎的な知識と技術を習得する。また情報技術検定等の授業内容に関連する資格取得にも取り組む。	評価する。そして、各定期考査は知識理解の目安として評価する。	○	○	○	○	○	N0	005
141	K	T	T	M040	実習	4	2	探究	必修	工業に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身につける。	「機械加工」「溶接」「電気・電子技術」「制御技術」について、工業技術基礎で学んだことを基礎に、内容を深める。	実習中の態度・姿勢など、積極的な授業への参加態度や技術を学ぶ意欲を重視する。技術習得の目安として課題作品を評価する。知識理解の目安として、レポート提出・口頭試問・定期考査を行い評価する。	×	○	×	○	○	M0	009
142	K	T	T	M040	ロボット基礎	4	2	探究	必修	ロボット技術について、その基本技術である機械技術や電気技術、制御技術等について、各分野の基礎知識と技術を身につけることにより、機械制御技術の基礎知識を確立し、基本技術を身につける。	①ロボットを動かす機械技術 ②ロボットを動かす電気技術③ロボットを創る工作技術 ④ロボット技術の歴史	①定期考査(100点満点)×実施回数 ②授業点(出席点、態度点、小テスト、レポート点、提出点など) (25点×考査回数) ③①、②の合計の得点率により評価する。	○	○	○	○	○	M0	009
143	K	T	T	M040	産業技術概論	1	2	探究	必修	工業人として、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や技術者に必要な資格などについての探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己のあり方や生き方を考えることができるようになる。	産業技術の各分野の特徴、資格等の種類と特徴について学習する。大学や企業での研究活動について調べる。自分に必要な資格等の学習。	主体的に意欲を持って学習に望む態度を重視し、学習の成果を具体的に示すことを含めて評価する。	×	×	×	×	×	M0	009

整理 No.	学 科 名	单 位 数	学 年	類 科	備 考	開講趣旨	学習内容	評価の方法	1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ー ド 2	No.				
	学 科 名	学 科 名	单 位 数	学 年	類 科				1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査	2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査	3 学 期 期 末 考 査	教 科 コ ー ド 2	No.				
144	K	T	T	M040	実習	4	3	探究	必修	2年の実習の内容を基礎に、機械、電気、制御技術について応用し深め、確かな技能・技術を習得する。また、座学で学んだ専門知識や理論を実践的に活用し、その理解を深め体験により確認する。	ものづくりと制御技術につながる工業技術の各分野を応用し、連携させた内容を行う。「機械加工技術の応用」「デジタル制御技術」「製作課題」	実習中の態度・姿勢など、積極的な授業への参加態度や技術を学ぶ意欲を重視する。技術習得の目安として課題作品を評価する。知識理解の目安として、レポート提出・口頭試問・定期考査を行い評価する。	×	○	×	○	○	M1	106
145	K	Q	Q	M085	生産システム技術	2	2	自動車科	選択	電気、電子、機械、計測、制御、生産管理とシステム技術の基礎的な内容を取り扱い、生産システム技術に関する基礎的な知識と技術を総合的に学習し、自動化工場、生産現場における管理システムの分野などの実際の生産現場に活用できる能力と態度を養う。	主に大量生産を行う工場に於て実施されている生産の概念と、具体的な周辺技術について学習する。 直流回路、磁気と静電気、交流回路について学習する。	年間5回の成績と授業態度(興味・関心・意欲)、出欠状況について総合的に判断する	○	○	○	○	○	M0	022
146	K	Q	Q	M050	製図	2	3	自動車科	選択	製図の基礎的な学習を理解し、CADを図面作成の有用な道具として活用することを主眼として展開する。	製図の能率化とCADシステムの重要性を理解させて基本的な操作例を示し、アイコンが確実に操作できるように習得させ、パンタグラフ形ネジ式シャッキの設計製図をCADで作成する	CADシステムの基礎・基本な知識の習得および操作技術と作品提出等総合的に判断する。	×	×	×	×	×	M0	012
147	K	Q	Q	M010	工業技術基礎	4	1	自動車科	必修	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験し、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を身につける。また、実習における心構え、安全第一の考え方を理解する。	○事前指導(実習の心構え、安全第一の心得、各作業内容、レポートについて) ○金属加工(切削加工、塑性加工等) ○電気実習(オームの法則、ホイートストンブリッジ等) ○工業計測(ノギス・マイクロメーター等) ○材料試験(強さ、硬さ等) ○自動車実習(エンジン分解組み立て等)	各テーマのレポート・課題・作品の成績に、定期考査の成績、授業への取り組み状況を加味し、4観点に基づき総合的に判断する。	×	○	×	○	○	M0	002